



天草の海にお客さんイルカがきました



2024年9月8日、上天草の沖合でいつもとは違う!! イルカが群れをなして泳いでいるのが発見されました。夕方に調査に出ましたが、残念ながら発見できずにその日は終了。外海からのイルカはすぐになくなってしまいます（外海に戻る）可能性が高いので、残念だなあと肩を落しました。ところが、翌日も発見情報が入りびっくり! そのときは、すぐに出航することができたので見失わずに会うことができました (*´▽`*)!!!!

発見されたイルカは、**ハセイルカ**の可能性が高いです。マイルカという種類ととても似ているので、確実なことはわかりません。ハセイルカとマイルカは、遺伝的にわずかな差はあるものの、地域差（エコタイプ）も多く報告されています。見た目は、ハセイルカのほうが身体が大きくて口ばしが長いといわれています。

調査員の高崎は、生きている**野生のハセイルカ**を見るのは初めて! しかも、その数は7~80頭くらいはいるのでは? という大きな群れ。彼らはとてもエネルギーで泳ぎも速く、とにかくずっと猛スピードで泳ぎ続けていました。調査船（漁船）のほうがついていくのがやっと、というほど休憩なし! すごいスタミナに驚くばかり。さらに、いつも見ているミナミハンドウイルカより小柄で可愛らしかったです。自然の奇跡に遭遇できて、とてもラッキーでした。

ところが・・・このイルカたちは、どうやら有明海のなかにとどまってしまいました。9/25になっても発見情報が入っています。普段外海にいる彼らは、制限のある内海では、なかなか苦勞が多いはず。生け簀や網、そして船などの往来は外海の比になりません。また、必然的に人との接点も増えます。どうか、ケガ等を負うことなく、安全に外海に帰ってほしいなあと願うばかりです。

天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業

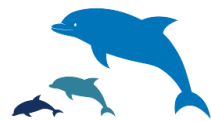
facebook



やってるよ!



ミナミハンドウイルカの体色は、灰色の濃淡のみなので、ハセイルカのあざやかな模様が、まぶしかったです。また、あのスピード感を体験すると、なんだか天草のイルカたちが野生とは思えないほどでした(笑)



Amakusa SDGs

記事や活動についてのお問い合わせ



天草イルカ調査室



amakusa_dolphin



検索